

### ■授業の目的

スペイン語とスペイン語圏の文化に対する理解を深めさせるとともに、学習者がより良い聞き手・話し手になるための資質・能力を育成できるような教授法を身に付け、授業を構成・評価する力を養うことを目的とする。

### ■授業の到達目標

教材研究（ICTの活用も含む）、模擬授業・試験の作成と評価の体験を通して、効果的なスペイン語の学び方・教育法を探求し、実践に役立てる。また、第二言語習得理論や教授法に関する基礎知識を概観し、スペイン語教育に応用する。

### ■授業計画

#### 〔前期〕

- 1 第二言語習得理論  
スペイン語を学ぶ・教える
- 2 教授法、年間計画・単元構成・評価の在り方  
CEFRを参考にして（1）
- 3 教授法、年間計画・単元構成・評価の在り方  
CEFRを参考にして（2）
- 4 教材研究、学習指導案の作成の仕方、ICT利用
- 5 スペイン語はどのような言語か  
言語とスペイン語圏の文化
- 6 スペイン語の発音  
現代の標準的な発音の指導法
- 7 アクセントと発音  
日本語と比較して指導する
- 8 スペイン語の表記  
文字・符号
- 9 挨拶・自己紹介  
動詞直説法現在、主語人称代名詞、名詞（職業等）
- 10 家族・友人の紹介（1）  
動詞直説法現在、代名詞、名詞、冠詞、形容詞
- 11 家族・友人の紹介（2）  
動詞直説法現在、疑問詞、数字、前置詞
- 12 日常生活について話す  
動詞直説法現在、副詞
- 13 学校生活について話す  
動詞直説法現在、副詞
- 14 好みについて話す  
動詞 gustar 型動詞
- 15 前期のまとめ  
自分の課題について

#### 〔後期〕

- 1 語彙指導法、試験の作成と評価法
- 2 人や物を比較する（1）  
優等比較、劣等比較
- 3 人や物を比較する（2）  
同等比較、最上級
- 4 過去の出来事について話す（1）  
直説法点過去と線過去
- 5 過去の出来事について話す（2）  
直説法点過去と線過去の使い分け
- 6 経験について話す  
完了時制、過去分詞
- 7 遠足や修学旅行などの予定について話す  
直説法未来形
- 8 現在進行中の事柄について話す  
分詞構文
- 9 いろいろな願い事をつぶやいてみよう  
接続法の用法
- 10 スペインに住んでいる友達  
関係代名詞
- 11 ～してね、～してください  
命令形
- 12 歌（童歌・童謡など）の活用  
学習の手段として歌を効果的に用いる
- 13 スペイン語圏の絵本・物語の活用  
4技能を磨く、絵本・物語から見える世界
- 14 異文化理解  
言語能力と文化能力
- 15 後期のまとめ  
授業研究の総括

### ■授業の方法

毎週平均4時間の授業外学習を前提とします。外国語教育に関する資料を読みます。それを元に、「学ぶ・教える」ということについて考え、自らの経験を生かしながら学習指導案を作成し、模擬授業とディスカッションを行います。テストの試作、評価も実際に行います。全てに振り返りの時間を設定します。

### ■予習・復習

予習：課題について短いレポートをまとめるために資料を読み、模擬授業の準備をします。復習：模擬授業実施後は、問題点を見つけ、その改善策を議論し、その結果をまとめます。毎週平均4時間の予習・復習が必要です。

### ■成績評価の方法

前期・後期ともに、予習・復習をして授業に取り組んでいるかをみる平常点60%、レポート・課題についてはよくリサーチされているか、論理的にまとめられているかを評価20%、模擬授業（教案を含む）の内容等20%を合わせて総合的に評価します。

### ■教科書・参考書

プリント教材、文部科学省(2017)『中学校学習指導要領解説 外国語編』

参考書：白畑知彦、若林茂則著『詳説第二言語習得研究 理論から研究法まで』研究社、パッツィ・M.ライトバウン、ニーナ・スバダ著、白井恭弘、岡田雅子著『言語はどのように学ばれるか -外国語学習・教育に生かす第二言語習得論』岩波書店

### ■関連する科目

スペイン語必修科目全て